

よろこび

日蓮宗 顕聖会

本山 妙顕寺

長音山 本要寺

『よろこび』2

貫首 齊藤 日軌

本来人間の生命とは、喜びにあふれたもので、皆さん子供頃毎日が楽しく、夜寝るときは、明日何があるか楽しみに眠り、朝は、今日も一日何があるかとワクワクして目覚めたことを覚えていませんか。法華経には「衆生所遊樂」という言葉がございます。法華経「如来寿量品第十六」にある文で、「衆生の遊樂する所」とお読みします。これは私たちの住むこの世界は、じつは仏さまの国であり、人々が遊び楽しむ所だということです。私たちが、仏様のあんな世界から、じつはこの世に遊びに来ているんですね。この事の本当の意味が

わかって来ますと、苦しみや悲しみがお題目をお唱えしますと、私たちの魂は、命の喜びのエネルギーが、大歓喜の心に触れることで、南無妙法蓮華経なのです。



みおしえ

妙法蓮華経という御本仏は大宇宙の意識です。人類の私たちが一人一人の意識を、ださった方で、しかも私達の意識の中に、私達自身の意識の本質としていつも存在しています。(所化以て同体)

これは、私達の本心で、真我(魂・仏性・九識)と呼びます。私達は、この真我の声に従って生きることが大切です。

よく自分の心に従って生きなさいと言われますが、本当はそれは正しくありません。確には「本心に従って生きなさい」「真我の魂の声に従って生きなさい」です。心は、肉體同様に真我が地上を平和な楽土にするため使用される手段であり、本当の自分自身とはいえません。

心は肉体的欲望に左右され迷いがちであり、善と悪、利己や利他の狭間で揺れ動き、人を攻めたり、自分を責めたり、怒ったり恨んだり恐れたり悲しんだりします。

いのり
南無妙法蓮華経と唱えて心を仏意に重ねよう、
を仏意に添った意志こころ
ざしで心を統御しよう

